第 69 回　卒業証書授与式　式辞

市立札幌啓北商業高校の全ての課程を修了し、学び舎を後にする 216 名の卒業生の皆さん。卒業おめでとうございます。

併せまして、卒業式にご参列頂きました保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。本校教職員を代表してお祝い申し上げます。ここまで愛情を注いで育ててこられたお子様の晴れの姿をご覧になり、そのお喜びはいかばかりかと拝察いたします。

本日は御多忙な中、ご来賓の方々にご出席いただき、保護者の皆様をはじめ、このように多くの方々の祝福のもと、式を挙行できますことに感謝申し上げます。

さて、皆さんが啓北商業高校に入学した令和 3 年は、新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるった年でした。不自由な思いで過ごした中学校から高校に入学した皆さんは、コロナ禍でどのような高校生活を送れるのか大変不安な思いであったことでしょう。この年は東京オリンピックが無観客で行われたことも鮮烈な記憶として残っています。9 月には感染者の減少から、緊急事態宣言や、蔓延防止措置が解除され少しずつ明るい兆しが差してきた頃でした。2 年生となった令和 4 年は、3 年ぶりに関西方面への見学旅行が復活し、マスクを着用しながら感染防止に気を使い旅行にでかけました。帰校後の皆さんの充実した笑顔を見て、本当に実施できてよかったと感慨にふけったものです。そして 3 年生となった今年度、5 月にコロナ感染症は、感染症法上の分類が 5 類へと移行しました。世の中は日常を取り戻すのに躍起になりました。7 月の啓北祭では、体育館に全員が集まってのステージ発表や、一般公開を行ったりと久々に思い切り力を発揮できる学校祭でした。久々の全面開催でしたから、先輩からの引継ぎや伝承もままならず、開催に向けては手探りの状態で大変苦労したことと思います。そのような中で、伝統を守りながらも新しい形を創造し啓北祭を作り上げた皆さんの力は素晴らしかった。9 月から始まった就職、進学に向けての真剣な取り組みは、自分自身の進路実現を達成する意気込みにあふれるものでした。次々と内定、合格を勝ち取り戻ってきた皆さんを大変頼もしく感じました。

啓北商業は、グラジュエーションポリシー、すなわち卒業までに身に付けて欲しい力として 3 つのＣを掲げています。その 3 つとは、チャレンジ、粘り強く挑戦をすることができる力、コラボレーション、目標達成に向けて協働することができる力、クリエーション、課題探究のアプローチの仕方を創造することができる力です。これらは、これからの予測不可能で変化に富んだ社会を力強く生き抜くために必要な力として定義したものです。日々の授業、行事、部活動、就職や進学のための活動、その全てはこの 3Ｃを獲得するためのものでした。課題研究や総合実践をはじめとする様々な授業で、日々クリエィティブな力を磨き、啓北祭や体育祭、見学旅行を成功させるため仲間と、先生とコラボレーションを行い、進路目標の達成のために沢山の先生と面接練習を行うなど、どこまでも諦めないチャレンジの精神を磨き続けました。人間関係で苦しんだこともあったでしょう。学校を辞めたいと思った時もあったでしょう。3 年間よく頑張りました。本日の晴れやかな表情を見ていると、3 つのＣを獲得して啓北商業を卒業していく皆さんを、啓北商業の教職員として誇りに思います。

これからの多様性の時代を生きていく皆さんは、全ての人々が受け入れられ、尊重される社会を作って

いかなければなりません。性別、人種、宗教、性的志向、身体的能力、など様々な属性を尊重する社会です。自分とは異なる視点や意見を傾聴し、それを理解し、意見に食い違いが生じた時はとことん話し合います。そしてお互いの妥協点をみつけながら、両者が WIN-WIN の関係になれることを目指します。ＳＮＳ全盛の今の時代を生きる皆さんだからこそ、実際に会って、相手の表情を見ながら会話をする機会を大切にしてください。そして時々、スマホの電源を切り、自分自身を浄化させてください。

3 年間この学び舎で努力を継続した皆さんは、啓北商業に深い愛着を持ち、啓北商業に在籍していたことを誇りに思って巣立って行くことと信じています。どうかお元気で。それぞれの道で輝いてください。

最後になりましたが、これまで卒業生を一番近くで支えてくださったご家族の皆様に、啓北商業高校の教職員を代表してお礼を申し上げ、校長式辞といたします。

令和 6 年 3 月 1 日
市立札幌啓北商業高等学校　校長　桑島宏明